令和６年度

びわ湖ホール

# 劇場サポーター活動記録集

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA

# はじめに

「チェンジ」「チャンス」「チャレンジ」の年にしよう。

財団では年度始めに職員が一堂に会し、辞令交付式を行っています。今年度の辞令交付式で職員に訓示したのがこの言葉です。

実はこれは、５年前の正月、県庁の仕事始めでの三日月知事の言葉です。今の財団の状況にもピタリとくるのでお借りしました。

御案内のとおり、びわ湖ホールは、大規模改修工事のため2026年７月から2028年２月まで全館休館を予定しています。他のホール等で平常時と同様の事業を積極的に実施したいと考えていますが、20か月もの間びわ湖ホールからお客様の足が遠のくという大きな変化、チェンジが目の前に迫っています。

これをピンチと捉えるのでなく、チャンスに変えたいと考えています。

今までなじみのなかった地域や場面で新たなお客様とお会いする、地域のホールとの連携関係を構築する、びわ湖ホール・文化産業交流会館・地域創造部の持ち味を生かし相乗効果の発揮を追求する、など、自らのチェンジに尻込みせず、新たなスキルを獲得し、事業の幅を広げるチャンスにしていきます。

世間の動きでは、大阪・関西万博が開幕し、秋には彦根を主会場に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。いずれも催しの中で阪芸術監督や声楽アンサンブルが主要な出演者として登場します。音楽ファンだけでなく一般の方にもびわ湖ホールのことを知っていただくチャンスです。

びわ湖ホールの今年の年間テーマは「挑戦－チャレンジ」ですが、大きなチェンジを控え、県内外の活性化の動きも取り込みながら、財団全体の総合力を一層養い、ピンチをチャンスに変える、あるいはチャンスを活かす、このことに大いにチャレンジしていきます。

再開館後の2028年には、びわ湖ホール30周年、文化産業交流会館40周年の節目を迎えます。休館中の取組も含めて更なるパワーアップを果たし、今まで以上に充実した事業を展開し、皆様の御期待にお応えしたいと考えています。

劇場サポーターの皆様におかれましても、びわ湖ホール発展に向け引き続きお力添えを賜り、ご提案、ご助言など忌憚なくお申し付けくださいますよう改めてお願いいたします。

令和７年４月

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
館　長　**村 田 和 彦**

# ♫ ♪ ♩ ♫ ♪ ♩ ♫ 目　次 ♫ ♪ ♩ ♫ ♪ ♩ ♫

びわ湖ホール劇場サポーター活動報告 …… 1

2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要 …… 11

2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要 …… 12

2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱 …… 13

2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳 …… 14

2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」活動の様子 …… 15

# びわ湖ホール劇場サポーター
# 活動報告

期別（順不同）
文責：びわ湖ホール劇場サポーター

（タイトル）お世話になりありがとうございます。（第27期）（氏名）阿部 ちよ

サポーターの皆さまのお顔とお名前に少しずつ馴染んできて，公演や定例会等の行事でお会いできるのがとても楽しみです。
ハーモニア編集では相変わらず皆さまの足をひっぱっていますが，自由に，思っていることが誰でも発信し易い交流誌になるよう，末永く見守って下さいますよう，どうぞよろしくお願い申し上げます。

（タイトル）これからもお世話になります（第27期）（氏名）岩井 香里

広報物を5部、ご送付いただけますので、自分用と来客に見ていただくので1部、4部は大人の生徒さんにお渡しします。毎月、楽しみにしてくださり、しっかり読んでくださって、コンサートへ足を運んでくださったこともあります。私が、体調が芳しくなくて、思うように動けなかったのが残念でしたが、周囲の方々には、劇場サポーターで体験したことをお伝えして、喜んでもらっています。ちょっと違いなーと言われると、ショボンとしますが、よい企画のものばかりとほめられました。

（タイトル）そっちでびっくり仰天（第27期）（氏名）老邑 克彦

スケジュールが合わなくて、チケットを手放した公演があったりして、少し残念な年でした。

「三文オペラ」と「死の都」は行きました。「死の都」は、予め解説講座を設けていただいたので、予備知識を仕入れることができました。それでも、第二幕の冒頭に、解説にはなかった大掛かりな舞台装置が現れて、びっくり仰天しました。あのような大きな装置がせり上がってくるとは、ステージの下が一体どのような構造になっているのか、大いに興味が湧きました。

(タイトル) 令和6（2024）年度ｻﾎﾟｰﾀｰ活動報告　(第27期)　(氏名) 大﨑良信

2024. 7. 4　七夕ロビーコンサート鑑賞
. 8.24　第1回基礎講座（舞台のあれこれ・鍛内暖）、第2回サロン土井さんとのお話し出席
.10.27　第3回定例会（ブルックナーの体験と魅力）出席
.11.4　第3回サロン有田さんとのお話し出席
.11.17　オペラKHP稽古見学会「竹取物語」出席
.11.23　阪哲朗指揮オペラ「竹取物語」鑑賞
2025. 1.19　東条碩夫オペラ講座「死の都」（初級編）出席
. 2.23　オペラKHP稽古見学会「死の都」出席
. 3. 2　阪哲朗指揮オペラ「死の都」鑑賞
. 3. 9　沼尻竜典指揮「マーラー大地の歌」鑑賞
. 3.12　ロビーコンサート鑑賞
. 3.23　第4回サロン、全体会合出席

（活動）
・広報物のマンション掲示板への掲示と配布、知人や家族への配布
・ポスターの平和堂フレンドマート店舗掲示板への掲示依頼
・ハルモニアへの投稿
（感想）
残念ながら、講座や会合のいくつかは、仕事の都合により欠席させていただきました。
（抱負）
食わず嫌いのまま、これまで自分が聞いてこなかったオペラやクラシック音楽を鑑賞して皆と語り合いたい。それとともに、オペラやクラシック音楽に馴染みがない人たちにびわ湖ホールの感動を伝えたい。

(タイトル) 令和6年度活動報告　(第27期)　(氏名) 岡部正宏

1. 各種活動へ積極的に参加し、多くのホーターの方々との交親を深めると共にびわ湖ホールに対する理解を深めた。
2. びわ湖ホールからの広報物を積極的に利用・配布し、びわ湖ホールの公演等に関するPRを行なった。

(タイトル) 令和６年度活動報告　(第27期)　(氏名) 小林幹和

定例会を始め各種講座等も、できるだけ参加させていただきました。それらの機会に、知らなかったいろいろな話が聞けて、音楽と接する楽しみが増しました。

サマーパーティで、声楽アンサンブルの方と直接お話ができたのも楽しい思い出です。

送っていただいた広報物は、関係している京都のよし笛の仲間１５人ほどに毎回披露してます。そのチラシを見て、何人かはびわ湖ホールのコンサートに足を運んでくれたようです。

これからもオペラの楽しさ、びわこホールのすばらしさを知り合いに紹介したいと思います。

令和６年度活動報告

タイトル：好きな音楽をもっと浴びたい　　第２７期　　氏名：武田 克己

時々お会いする人や、初めてお会いする人に「Stage」を見せると、「あっ、年末のコンサートへ行きましたよ」とか、「そんな活動をしているんですか」とか。コミュニケーションのきっかけづくりにも　活用させていただいています。
最近は、好きな音楽を聞いていて、素直で穏やかな気持ちを取り戻せる時間をじわっと楽しんでいます。

令和６年度活動報告　　第 27 期　段浦　洋子

今年度も基礎講座、特別講座、サポーターズサロン、定例会、KHP 見学、オペラ講座、又、わいわいコンサートやクリスマスパーティーに参加出来ました。ここで得た知識や情報は私自身が音楽を鑑賞する上でプラスになりますし、びわ湖ホールのPR活動にしています。びわ湖ホールの公演を支えてくださるスタッフの方のお話は感銘を受けました。広報誌は例年通り、習い事のピアノとバレエの教室へ置かせていただいてます。サポーターというより楽しみながら学ばせてもらってるという感謝の気持ちです。今年度もよろしくお願いします。

(タイトル)　拡がった音楽と仲間　　(第 27 期)　(氏名)増田　希世子

オペラのオの字もわからなかった 3 年前からすると、楽しみ方、観方をびわ湖ホールの方々に教えていただいたことに感謝しています。
声楽アンサンブルの方とオペラの一般合唱団でご一緒に舞台に立った時、彼らの歌声を出すための体の震え響きを感じて、プロのすごさも体感しました。
こんな体験と、このびわ湖ホールの素人も巻き込む取り組みのすばらしさを、友人たちにも伝え、大阪や兵庫からも足を運んで一緒に感動してくれました。
そして何よりも、音楽を愛する方々と仲間になれたことが何よりの収穫です。
ＳＮＳ発信も昨今大切ですが、人と人が同じ空気を感じるつながりを大切にして、びわ湖ホールのすばらしさを発信していきたいです。

(タイトル) 令和6年度の活動について　(第27期)　(氏名) 若野 桜子

令和6年度は、大学でチラシを配布したり、身内をおすすめの公演に誘ったりといった活動になりました。その中で興味を持って下さった方がおり、実際に足を運んでくださった方もいました。今後も積極的にチラシ配布などをしたり、実際に誘ってみたりしながら、びわ湖ホールの公演を広めていけたらと思います。

(タイトル) 活動報告　(第27期)　(氏名) 鷲森眞理子

広告物の配布をしても、なかなか劇場の方まで行っていただくことができません。

(タイトル) 関わりを持ち続けたい。　(第27期)　(氏名) 和田 祐子

現在闘病中ということもあって、活動はできておりません。しかしびわ湖ホールを好きという気持ちは変わりませんので、調子が良ければ足を運んだり、関わりを持ち続けたいと思います。

(タイトル) 一人でも多くの方に！ (第28期) (氏名) 稲津里美

いろいろなイベントに参加させて頂き、オペラの知識と関心が深まってきました。企画等、有難うございます。この2年間、除々にですが、主人と一緒にびわ湖ホールでのコンサートを楽しむようになり身近な一人をファンにすることが出来ました。(笑) これからも一人でも多くの方にホールの魅力を伝えられる様、活動していきたいと思います。

(タイトル) サポーター2年目を終えて (第28期) (氏名) 大澤隆司

サポーター活動に参加し、2年が経過しました。レクリエーショングループに所属しております。びわ湖ホール関係者の皆さんやサポーター同志の親睦が図られ、ホールへの建設的なご提案が出来ればと願っています。

特に昨年印象に残った出来事は、有志参加による"サマーパーティ"でした。サポーター活動に支援を戴くホールの土井さんのご尽力により、びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが3名参加戴けた事。

若い世代が参加して戴き、場が華やぎ、すばらしい宴となりました。より一層、声楽アンサンブルのファンになった次第です。この4月6日、草津フェアホールでの公演も鑑賞させて戴くつもりです。

県民に愛される"びわ湖ホール"を目指して!!

(タイトル) 気楽に(失礼!)楽しくサポーター活動 (第28期) (氏名) 荒川富也

◎ハルモニアグループ。

・編集作業はまったく出来ませんが、出版後のお打ち上げをお担当させていただいてます。

・ハルモニアにコラムを持たせて頂き、自分の体験など書かせていただいてます。

◎レクレーショングループ。

・ハイキングやクリスマスパーティーなどで盛り上げ(てるつもり?)てます。

◎他の用と重なって定例会にあまり行けなかったことが心残りです。

今後も楽しく活動を続けていきたいです。

(タイトル) 令和6年度活動報告　(第28期)　(氏名) 谷垣ありさ

今年度は、サポーターならではのイベントになかなか参加できなかった年でした。前半に、びわこのこえさんの公演のPR活動をさせていただきました。来年度はもう少し活動できればと思っています。

28期 びわ湖ホール劇場サポーター　三浦　潔

1）成果：
① 関西圏と首都圏在住の知人にびわ湖ホールの公演案内を定期的に送付して、宣伝に努めた。その結果、いくつかの催しへの来場に繋がった（「びわ湖の春 音楽祭」「阪哲朗オペラセミナーII」「天国と地獄」「死の都」「沼尻・京都市響／マーラーシリーズ」など）。特に「死の都」には東京・京都・神戸の7名が観劇した。
② 劇場サポーター同士の親睦を目的に2019年度まで6回開催された「わいわい！コンサート」を、実行委員長として5年振りに開催することに尽力した。

2）感想：
① びわ湖ホール声楽アンサンブルとソロ登録メンバーの方々と交流し、彼らの実力を間近に知る機会が増えて、彼らを応援する気持ちが強くなった。
② ホールの公演や催し物のPRに携わって、びわ湖ホールへの親近感と身内感がさらに強まった。

3）今後の抱負：
① びわ湖ホールの良い公演をもっと多くの人に鑑賞してもらえるように、引き続きホールの公演の宣伝に努めていきたい。
② びわ湖ホールの公演や運営について、鑑賞する側が感じていることや思っていること（意見や要望）を、ホール側へ伝える役割を果たしたい。

(タイトル) 出会いに感謝　(第29期)　(氏名) 植木恵子

劇場サポーターの活動をはじめて1年になります。
定例会での学び、レクリエーションでの交流もあり私にとってはとても楽しい1年でした。先輩サポーターから教えていただくことも多くて勉強になりました。びわ湖ホールのすばらしさをもっとPRできるようにたくさんの公演を楽しみたいと思います。よろしくお願いします。

(タイトル) サポーター活動報告　(第29期)　(氏名) 園田珠江

毎月の配布物はご近所、友人、知人、親戚等にお渡ししました

びわ湖ホールへ行ったことがない友人を誘って、品川カルテットのフリーコンサートや、

ロビーコンサートへ気軽に行くことができ、びわ湖ホールの良さをお伝えすることができました

定例会等には都合がつかないことが多く欠席となりがちですが、

サポーター活動を引き続きマイペースに楽しみながら継続させて頂きたいと思います。

(タイトル) 新・音楽体験　(第29期)　(氏名) 鍋宿英明

1年間、お世話になりました。サポーターの皆様の造詣の深いことに驚くばかりでしたが、新鮮な音楽体験ができました。これまで、オペラなどの舞台芸術は殆んど関心がなかったのですが、少し興味がわいてきたようです。あと少し頑張ればこれからはサポーターとしてお役に立つこともできるかもしれません。

(タイトル) サポーター1年目を終えて　(第29期)　(氏名) 越田晶子

サポーターに張りきって応募したものの、家族の事情であまり活動できず残念でした。そんな中で「マーラー聴きくらべ」「死の都オペラ講座」「岡本先生のコルペティ講座」はとても有意義な時間でした。今年は「びわこホール」の素晴らしさを少しずつ広めていきたいです。

(タイトル) 1年目の・・・ (第29期) (氏名) 森田 啓子

サポーター1年目の今年度は、まず、公演、交流会、サロン、パーティ、講座等に参加する事でした。
自分自身が楽しむ事に重きを置きました。
結果、人生が少し豊かになってきたように思います。
その為、PR活動は、二の次となり、2年目の課題としてがんばります。

(タイトル) 1年目の活動 (第29期) (氏名) 池尾 正子

ご案内いただいた会合、講座、研修、見学会等都合がつく限り参加させて頂きました。知識も増え、いもづる式に興味関心も広がっていったように思います。
また演奏会にも多数参加し楽しませて頂きました。

パンフレット類は、おけい古場(茶道)に置かせてもらい、興味があるものを持って帰ってもらうようにしています。個々のチラシよりも年間プログラム等まとまった情報の資料に人気があり、ホールに行ったついでに追加分を入手し配ったりもしました。

来年も更に楽しく活動ができればと思っています。

(タイトル) 活動報告 (第29期) (氏名) 大澤 麗子

大阪から びわ湖畔に転居して約1年。
びわ湖ホールへは 夫がサポーターですので 私もサポータへの思いはありましたが、仕事が忙しくて なかなか決断がつきませんでした。 ただ自宅には「stage」やチラシをレッスン室に置いておりました。 音楽教室・イタリア語教室を主宰していると、口コミの大切さを体感しておりましたので地道に取りくんでいました。 さて、3月中旬 びわ湖さがなみシスターズ コンサートへ行ってきました。 ソプラノ 船越亜弥さん メゾソプラノ山際きみ佳さん、ピアノ植松さやかさん、ブラーヴェ!!

（タイトル）サポーター一年目は?!　（第29期）　（氏名）中川道子

・サポーター新入会として、できるだけホール主催コンサートやイベントに参加することを目標にして活動して参りました。
・幼児から小学校生への楽しいイベント、ピアノ解体は、興味深いものでした。引越の真剣な目エルには感激
・オペラ「死の都」は、KHP、ゲネプル及び本番2回を観ましたが、日毎にキャストの方々が変化されていく様は大変に勉強になりました。

（タイトル）令和６年度活動報告　（第 29 期）　（氏名）大橋典子

定例会グループに所属し、第１回、第４回、第５回の定例会に参加しました。その他、出席可能なサポーターズ・サロンや基礎講座、ゲネプロは「竹取物語」と「死の都」の見学に参加できました。ざっくばらんな舞台の裏話、聴き比べ、オペラへの理解を深めるなど、自分だけではできない体験ができ、大変有意義な１年でした。

印象的だったのは、わいわいコンサートに参加（オーディエンスです）したことで、皆さまのパフォーマンスがとても楽しかったです！

毎月送っていただくチラシを配り、その方たちを「びわこの春　音楽祭」や「死の都」にお連れし、楽しんでいただけたこともよかったです。

来年度も、できるだけいろいろな活動に参加し、楽しい１年を過ごしたいと思います。

（タイトル）琵琶湖を眺めながら　（第29期）　（氏名）泊泰弘

活動一年目で、当初は他の予定と重なり欠席がちでしたが、後半は積極的に参加しました。特に「死の都」については、東条さんのオペラ講座を始めとして、KHP見学会、三浦さんの解説、そして本番のオペラ鑑賞（演出家によるワークショップも）と、多面的に経験することが出来ました。岡本先生のコレペティトゥアの話しも大変興味深く、印象に残っています。

大津駅からホールまで、琵琶湖沿いに歩くのも、すっかり楽しみの一つとなりました。

（タイトル）　1年を振り返って　　（第29期）　（氏名）仁科　敬子

サポーターとしての知識を少しでも増やしたく、定例会には出来るだけ参加しました。
友人に会う時には「びわ湖ホール」のサポーターになったことを話題にしました。
ピアノを習っている子供さんのいる方へコンクールパンフを配布しました。
サマーパーティやクリスマスパーティへの参加、わいコンにも出演させていただき、
先輩の皆様方と楽しくご一緒させて頂けたこと、とても感謝しています。
残念ながらオペラを観ることは叶いませんでした。今年こそ！と思います。

# 2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要

## ◎劇場サポーター舞台芸術基礎講座（全サポーター対象）

［タイトル］舞台のあれこれ
［内　容］劇場における舞台機構の仕事についてのお話し
［講　師］籔内 暖（滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール　舞台技術部　部長代理）
［日　時］令和６年８月24日（土）14：00～15：30
［場　所］びわ湖ホール３F研修室

## ◎劇場サポーター舞台芸術特別講座（全サポーター対象）

［タイトル］歌手と舞台を繋ぐ架け橋――コレペティトゥアの役割と可能性
［内　容］コレペティトゥアという職業の魅力や役割を紹介し、岡本氏と劇場サポーターとの繋がりを深める。
［講　師］岡本佐紀子（コレペティトゥア、ピアニスト）
［日　時］令和７年１月30日（木）14：00～15：30
［場　所］びわ湖ホール３F研修室

## ◎劇場サポーター オペラ稽古見学会（全サポーター対象）

**【びわ湖ホール声楽アンサンブル　演技研修　見学会】**

**【『竹取物語』稽古（KHP）見学会】**
日　時：令和６年11月17日（日）14：00～（１時間程度）
場　所：びわ湖ホール大ホール（３階席からの見学）

**【『三文オペラ』稽古（KHP）見学会】**
日　時：令和７年１月20日（月）14：00～（１時間程度）
場　所：びわ湖ホール中ホール（２階席からの見学）

**【『死の都』稽古（KHP）見学会】**
日　時：令和７年２月23日（日）14：00～（１時間程度）
場　所：びわ湖ホール大ホール（３階席からの見学）

## ◎公演関連講座（直近３期のサポーター対象）

びわ湖ホールで開催する主催公演をより一層お楽しみいただくとともに、周囲の方々へ積極的に公演のPRをしていただけるよう公演関連講座研修を実施。

●オペラ演出家　栗山昌良　を語る
令和６年11月４日（月・休）

●オペラ講座『死の都』（初級編・全２回）
令和７年１月５日（日）、19日（日）

## ◎劇場サポーターメーリングリスト

びわ湖ホールからの事務連絡や自主交流会の案内、公演や講座の感想などの発信に用いています。

# 2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要

## １．定例会の開催

| | | |
|---|---|---|
| オリエンテーション | 令和６年 ４月 ７日（日） | （自主交流会紹介／年間計画紹介　ほか） |
| 第１回 | 令和６年 ５月12日（日） | 29期新サポーターの方々を歓迎する会 |
| 第２回 | 令和６年 ７月14日（日） | 小澤征爾氏追悼特集 |
| 第３回 | 令和６年10月27日（日） | アニバーサリー作曲家紹介<br>「アントン・ブルックナーの体験と魅力」 |
| 第４回 | 令和６年12月15日（日） | 名曲聞き比べ　～マーラー作曲「大地の歌」～ |
| 第５回 | 令和７年 ２月 ２日（日） | コルンゴルト作曲　歌劇『死の都』について解説 |

## 2. サポーター通信「Harmonia（ハルモニア）」の発行

（１） ４月　第52号（2024年春号）
（２）10月　第53号（2024年秋号）
　　声楽アンサンブル新メンバー、29期サポーター自己紹介ほか

※サポーター通信「Harmonia（ハルモニア）」…
　サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」。1998年10月から1999年６月までに創刊。準備号として３号を、2000年には名称を“Harmonia”（ハルモニア）として創刊号～第53号を発行しています。

## 3. サポーターズ・サロンの実施

| | | |
|---|---|---|
| （１）令和６年 ５月12日（日） | 第１回 | 「29期新サポーターの方々を歓迎する会」 |
| （２）令和６年 ８月24日（土） | 第２回 | 「劇場サポーター担当土井さんとおしゃべりしよう！」 |
| （３）令和６年11月 ４日（月･休） | 第３回 | 「事業部有田淳さんとおしゃべりしよう！」 |
| （４）令和７年 ３月23日（日） | 第４回 | 「びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとおしゃべりしよう！」 |

# 2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱

## １．趣　　旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを活かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、「びわ湖ホール劇場サポーター」（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

## ２．劇場サポーターの役割

○舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。
○舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。
○勉強会や交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。
○公演運営のお手伝いをお願いすることがあります。

## ３．劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は概ね120人、登録期間は１年間とします。ただし、１年ごとに継続の意思確認を行いますので、希望される場合は更新することができます。継続の意思確認は２月～３月頃に行います。

## ４．2024年度活動

（１）舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報
　・口コミやチラシ配布などによるPR活動
（２）舞台芸術に関する研修の受講
　・基礎講座
　・特別講座
　・公演関連講座
（３）自主活動
　・交流会などの開催
　・劇場サポーター通信（Harmonia）の発行

# 2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳

【期　　別】

| | |
|---|---|
| 1期 | 1名 |
| 3期 | 4名 |
| 5期 | 1名 |
| 6期 | 2名 |
| 7期 | 2名 |
| 8期 | 2名 |
| 9期 | 4名 |
| 10期 | 2名 |
| 11期 | 2名 |
| 12期 | 2名 |
| 13期 | 4名 |
| 14期 | 2名 |
| 15期 | 3名 |
| 16期 | 3名 |
| 17期 | 2名 |
| 18期 | 4名 |
| 19期 | 1名 |
| 20期 | 2名 |
| 21期 | 5名 |
| 22期 | 6名 |
| 23期 | 13名 |
| 24期 | 7名 |
| 25期 | 9名 |
| 26期 | 7名 |
| 27期 | 12名 |
| 28期 | 5名 |
| 29期 | 13名 |

【居住地】

● 滋 賀 県

| | |
|---|---|
| 大 津 市 | 61名 |
| 草 津 市 | 7名 |
| 栗 東 市 | 2名 |
| 守 山 市 | 4名 |
| 東近江市 | 1名 |
| 米 原 市 | 1名 |
| 長 浜 市 | 1名 |
| 湖 南 市 | 2名 |
| 近江八幡市 | 2名 |
| 蒲 生 郡 | 1名 |

| | |
|---|---|
| ● 京 都 府 | 27名 |
| ● 大 阪 府 | 5名 |
| ● 兵 庫 県 | 2名 |
| ● 奈 良 県 | 3名 |
| ● 愛 知 県 | 1名 |

計　　120 名

# 2024年度「びわ湖ホール劇場サポーター」活動の様子

令和６年８月24日　基礎講座の様子

令和７年１月30日　特別講座の様子

令和７年３月23日　全体会合の様子

令和６年７月14日　サマーパーティーの様子

令和６年７月14日　第２回定例会の様子

令和７年３月23日　第４回サポーターズサロンの様子

**発行　滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール**

発行年月　令和７年４月

〒520-0806　大津市打出浜 15-1

TEL 077-523-7133　FAX 077-523-7147

URL https://www.biwako-hall.or.jp/